



ワイワイ通信

Y.Y. PAPER
2008年11月発行
発行人＝編集小野寺組とつげき隊
「わたしのまち」11月号付録

ニュースステーション潮来とY.C鹿嶋北部・銚田南部のホームページ
わいわい・にゅーす <http://www.yynews.jp>

皆さんで集めたベルマークの累点
29497.8点(11月1日現在)
ご協力頂きありがとうございます

eco
今年夏、Y.Y. News携帯サイトが始まり、メールマガジンも発信するようになりました。そこで、更なる内容の充実を図るため、皆様のご意見やご希望をお聞きしたいと考えております。
携帯サイト(携帯で誰もが見られるサイト)や、メールマガジン(会員制の情報メール)で、「こんな情報があったらいいな」というアイデアを企画部へメールしてください。
ご応募の際は、ご意見(ご希望の他に、干住所、氏名、電話番号を入力してください。抽選で十名様にエコバックをプレゼント致します。当選は発送をもつて代えさせていただきます。

こんなメールマガジン!

e-mail: yynews@yume-pocket.co.jp 待つてま〜す!

企画部デザインスタッフ募集

土曜・日曜の取材が出来る方を希望します

企画部では、未経験でもやる気のある方を応援します!

仕事/「わたしのまち」の取材と編集、広告制作、プリント作業、営業等
資格/普通免許、パソコンが出来る方、年齢40歳位迄(学生不可)
デザイン経験者も歓迎(フォトショップ、イラストレーター、ページメーカー)
※アドビのソフトが未経験の方は入社後に習得して頂きます。

時間/9:00~17:00
休日/祝日と月6日※取材の無い日は土・日休めます。(詳細は面接時にて)
待遇/交通費(規定による)支給、その他面談にて
給与/委細面談
その他/デザイン経験者の方は、面接時に作品を(出力して)ご持参ください。
応募/電話連絡の上、履歴書(写真貼付)をご持参ください。
(受付は月~金/10:00~17:00 ※土・日は受付けていません)

ニュースステーション潮来 企画部夢ポケット
TEL. 0299-66-6667

シリーズ The Y.Y. PAPER の現場! 潮来&鹿嶋北部の読売センターをとつげき隊が突撃レポート!!

今月のとつげき現場は...
ニュースステーション潮来の近所にある
三角公園内の桜の木



10月の初旬、企画部に1本の電話が入りました。電話の主、日の出に住むNさんによると、「近くの三角公園で桜が咲いている」とのこと。
「秋に桜?」「スモモス(秋桜)じゃあるまいし...」と思いつつも、早速現地に向ったとつげき隊。視線を上にした木を探すと5分。ありました!確かに1本の枝だけに集中して開花しています。花は満開です。
夢中でシャッターを切るとつげき隊の横を、自転車に乗ったお爺さんや犬の散歩のおばさんは気にも留めずに通り過ぎて行きました。「珍しいんだから気付けよう!」と心で叫ぶとつげき隊でした。

STFF ROOM 「わたしのまち」編集デスク:TEL & FAX.0299-66-6667(TEL受付は、平日9:00~17:00のみ)

「わたしのまち」は、ニュースステーション潮来のホームページ上で展開しています。引き続き、皆様の情報をお待ちしております。催し物やサークル活動など...、ホームページの「わたしのまち」で取り上げてほしい出来事がありましたら、編集デスクまでご連絡ください。
また、お店情報城「わいわいキャッスル」で、お店をPRしたい方も受け付けております。詳しくは下記のお電話で。
「わたしのまち」編集デスク:TEL & FAX0299-66-6667 (TEL受付は、平日のみ10:00~17:00、FAXは24時間受付)
ホームページ掲載の締め切り日は毎月10日です。(締め切り日の当日が、土曜・日曜・祝祭日の場合はFAXのみの受付となります。)
★取材のご依頼について...当日にご連絡頂いても、スタッフが不在の場合があります。事前に電話かFAX(24時間受付)でご連絡ください。
ニュースステーション潮来、読売センター鹿嶋北部・銚田南部でも身近な情報をお待ちしております。気軽にお電話ください。

わたしのまちは 毎月1回 発行します
次号は 12月上旬に 更新します!
来月も読んでね!

■発行所 ニュースステーション潮来(読売センター潮来)
発行人 小野寺 勝彦
〒311-2423 潮来市日の出6-17-1
TEL. 0299-66-7995/FAX. 0299-66-7998
編集デスク(企画部 夢ポケット) TEL & FAX. 0299-66-6667
■読売センター鹿嶋北部・銚田南部
〒311-2215 鹿嶋市和789-13
TEL. 0299-90-9116

編集記
連休に思い切つてフランスの写真家、ロベール・ドアンノーの作品展に行った。パリ生まれで「ワオーグ」のカメラマンという事は知っていたので、さぞかしオッシャレな写真はかりなんだろうなと思つていたが、期待は良い方に裏切られた。パリの人々の写真と一緒に、ピカソやシャネル、ジュリエット・ビノシュの写真があったが、ドアンノーが撮ると、彼らの存在は「パリで生活している人」の枠内に入つてしまふのだ。被写体と共感する瞬間が訪れるのを忍耐強く待つというドアンノーの写真は、おしやれなイメージの裏に人間臭さが隠れていた。(銭)

お客様へ
●紙面に掲載された方や投稿された方の個人情報については、弊社で情報を守り、ホームページ内の「わたしのまち」以外で使用することはありません。
●他の新聞や雑誌、ホームページなどに掲載された写真や文章の投稿はご遠慮ください。
●連絡先の住所・電話番号・氏名(又は社名)が無いものは、掲載をお断りさせていただきます。
●掲載後のトラブルに関しましては、責任を負いかねます。
●新興宗教、政治、消費者金融、風俗店、売春に関するお知らせや記事は、掲載をお断りさせていただきます。